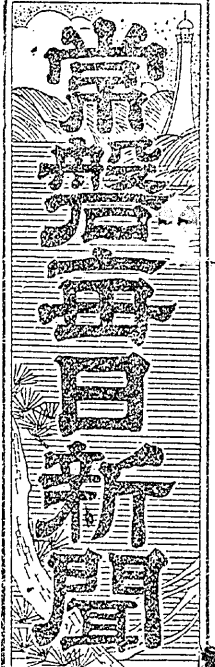


刊夕日二十月三



定額一冊金... 廣告料五... 印刷所...

童話 磐城黒姫物語 三

斧 青 三 郎

黒姫は他人が羨ましい程に幸福でした又老いた父母を、大切にするばかりでなく誰にでもやさしく、情け深い乙女でした。白菊、黄菊を眞實の兄の様に慕いました白菊兄弟も、自分の妹の様に可愛がつておりました。

たゞ黒姫が一年一年と経つにつれて、一枚一枚と重なつて来る様な悲しさと淋しさを、抱く様になりました。それは生れながらの自分のみにくい顔のことでした。黒姫は「心さへ美しければ、顔などはどうでも構はない」と言つてゐる愚念和尚の言葉を思ひ浮べて、自分の悲しさを、慰め様としました。何かにつけて淋しい口惜しさが彼女の身邊に漂ふのでした。

愚念和尚とは、ほど遠からぬ丘の上に在る、萬草寺の住職でした。山門をくぐると、大きな古碑には、草酒不許入山門と書いてありました。庭には、美しい花が咲き亂れてゐるのでした。黒姫は、毎日、日が高くなる頃、この寺に手習いに通ひました、美しい羽二重

の着物の上に紫の木綿のシフを着て、鼠色の縮緬の頭巾を目深くかぶつて、下を向いて歩きました。そのお伴はいつも黄菊でした。黄菊は和尚さんに、庭の大碑を指さして尋ねました。和尚は「ここにこそしながら「魚や酒を、佛につかへる者は用ふるな」と書いてあると申しましたので、黄菊は「和尚さんは、赤いお顔をして酔つてゐる事が見受けるが、お酒をお上りになるのぢやないのですか」

「あ、それは酒ぢやない。般若湯だよ」黒姫はこの時にくほくほを見せて微笑みました。日が高まつても黒姫の姿の見えない日がありました。杖 亡き友の墓前に赤し椿かな 椿浮く川上に見る土蔵哉 友の計にたそかれ行くや落椿 落椿波紋の岸に及びけり 椿咲く垣根あかるし友の墓 朝なごの断崖映ゆる椿かな ポツタリと落ちし音あり椿かな 岩陰にひっそり咲くや紅椿 流れ行く椿と春を行みけり 笹うつ椿落ちたる水邊かな

椿

(一)

(高月句會集)

鐘 紅 耕 十 湖 秀 良 曉 天 何 鳴 仙 美 亭 峯 晴 糸 影 果 樓

耳鼻咽喉科専門 鈴木 醫院 醫學士 鈴木 正男 平町田町(電話五八番) 藤田女學校前

星野時計店 大特賣 可愛御子様の卒業御進儀、御入學の記念には是非... プレゼントして喜ばれる星野の時計をおすすめ致します。

生徒募集 文部大臣認可 藤田女學校 願書受付 三月末日限り 本校宛問合せの事 福島縣平町田町 電話三二八番

中村齒科醫院 平町 鍛冶町七

平南町 産婆 生徒募集 看護婦 平産婆看護婦學校 校長 清野キヨ子 電話三〇七番

大勝園 電熱ほうじ茶發賣 一號 一斤六〇 四半斤一五 二號 一斤四〇 四半斤一〇 大黒はしらは家の王 お勝手道具は世帯王 大勝園で買った茶は 茶の間の王よ客間王 父様母様おすきの茶 客のほめる茶 喜ぶ茶

小店員數名募集 年齢十五才ヨリ 優遇 御希望ノ方ハ午後一時ヨリ本人御來談下サイ 平町田町一七 レストランサロン 電話三五二番

ランドセル 手提カバン ツルヤ 平・四 電一四〇

月曜是非

炭礦の事故頻發

炭礦が不振の極に陥つて、鳴りを鎮めて居る時は、殆んど事故といふものがなかつたが、最近、諸工業の勃興に煽られて、その業績が活氣付くと共に、相次ぐ事故頻發に、幾多の犠牲者を輩出して止まない。

探炭能率を極度に高めやうとする會社側の無理が祟つて、施設の上にも不完全がある爲めに斯かる慘事を生むの結果を招くのだと會社側の非を鳴らす者もあれば、又、自己の作業成績にのみ汲々として、當然の注意を閉却する處に禍因があると爲して、労働者の責めに歸する者もある。

吾人は事故の依つて起る原因に就いては是れを糾明しやうとするものではなから、従つて眞因が企業者側にあるか労働者側にあるかは追求する處でない。

ただ而し、不景氣の際に事故がなく、景氣の擡頭に比例して事故の増加する事實を見て、昔の人の云つた『好時魔多し』の言適中を成程と肯くものである。

或る醫師の言に依れば、不景氣で人間がアクセクして居る時は滅つ太に病氣等に罹らぬが、多少暮しが樂になつて來ると種々の疾患を引き起すものだといふ、是れも『好時魔多し』の一例であると思ふ。何故に好時に魔多きか？

此点を極め、此点に備ふる處あつて、豫め炭礦は不時の災害から免れ得る一路を發見し、その業態を一層向上活潑に導く事が出来る。心すべきは現下の好況に處してである。

平商卒業式

巢立つ卅七名

既報平商業學校第十四回卒業證書授與式は本日午前十時より同校講堂に於て舉行矢野校長の報告に次いで青沼平町長の告辭及び來賓として菅本商友會長の祝辭、在校生徒總代木幡八十八君の送辭、卒業生三十七名の總代四家肇君の答辭卒業生保護者總代馬目武之助氏の謝辭等あつて十一時半閉式したが來賓三十餘名因に町長の告辭は左の如くである

茲に本日を下し福島縣平商業學校第十四回卒業證書授與式を舉行せらるゝに當り一言以て卒業生諸氏の前途を祝福し且つ翼望を述べらるゝ小職の最も欣快とする所なり諸氏が本校に入學以來懇篤なる教職員各位教導の下に克く本校教育の精神を体し修學の功を積むこと數星霜國家有用の實業家として活動するの素地を築き卒業の榮譽を擔はれたるは是れ獨り諸子一身の克榮なるのみならず又國家のため誠に慶賀に堪ざるなり之れ固より諸子が日々刻苦勉學の結果なりと雖もその由て來るところを思へば諸氏のため拮据精勵多大の理解を持つ父

母の慈愛と寛嚴宜しきに適ひ指導誘導に當られたる教職員各位の賜もの以外ならずと謂ふべし惟ふに我邦建國の久しき茲に三千年長くも舊臘皇太子殿下御降誕あらせられ皇國の基礎益々固く國威愈々揚る此隆昌なる國運の進展を圖るは我國民の使命にして之れが達成は諸子の將來に俟つもの固より大なり而かも我國現時の情勢は思想上に經濟上に將又外交上に極めて重大なる難局に直面し一日の偷安をも容さざる非常時に際會し舉國一致中正にして剛健なる國民精神を養ひ國民經濟の更生に努め國力の充實を圖らざるべからざるの秋なり是を以て國家が諸子に要望するところ甚大なるものあるべし今後活社會に進出せらるゝ諸子の責任も亦重しと謂ふべし須らく時代の趨向と帝國の將來に鑑み智徳を涵養し身体を鍛錬し常に純眞にして潑瀾たる青年の氣魄を失はず自奮の精神を振ひ起し健全有爲なる中堅國民として此難局に處するの覺悟をなかるべからず

是れ即ち諸子が他日大成して國家の期待に副ひ又本校教養の趣旨に副ふ所以に外ならざるべし希くは諸子宜しく洋々たる前途に向つて勇往邁進せられん事を聊が所懐の一端を陳へて告辭とす

建國中興

六百年祭

國旗を掲揚 平町各小學校では明日建國中興六百年祭に當るので國旗を掲揚し各校長の講話がある

就職難突破

朗らかな卒業生

別項本日の平商業學校卒業生三十七名は矢野校長を始め各職員が就職斡旋に關し東奔西走した効あつて全部左の如く就職口決定送り出す者も送り出される者もいと朗らかな態であつた、川崎銀行二 古河電氣一 松坂屋一 磐城セメント一 磐炭二 入山探炭一 古河炭礦一 福島炭礦一 五十嵐炭礦一 明治火災一 庄慶二 東京大和商會一 江原バルト一 大浦信用一 松吉商店一 二本松電氣一 なかや洋服店一 旭川運輸一 鐵道一 福島高商二 名古屋高商一 横濱高工一 自家八

土木課長來郡

土木事業の初巡視

本縣新任土木課長大石巖氏は土木課員齋藤技師を隨伴して十三日から濱通り漁港土木課の初視察を行ふが本郡の視察日割左の如し 十三日平土木監督所、藤原川、植田の船溜り、小名濱築港一湯本泊、十四日中の作、江名一豊間漁港 夏井川、仁井田川一四倉港(四倉泊)

往年の猛者連が

カッブを目指して奮戦

昨日のOB卓球試合

平卓球協會主催第五回郡下OB個人選手権卓球大會は昨日十一日平稅務署樓上で舉行されたが参加者二十六名

をバットに變へて出場強剛を一蹴して決勝まで進み軒昂たるものあつたが惜むらくは決勝に於て部下新谷氏に思はぬ不覺をとつて意氣消沈！ 準決勝以後の戦績左の如し 準決勝 新谷警中3-0熊谷平第二 △B組 小椋山警中3-0丹野日電 決勝 小椋山 3-2 小椋山

海軍志願

平町合格者

過般平第三小學校で執行された海軍志願兵採用試験に平町よりの受験者中左記四君が見事合格した (水兵)小林清 船生勉 古畑三男 (機關兵)大島義男

植田土木廳舎

植田土木監督出張支所は植田、勿來、錦、山田、川部、田人組合の二町四ヶ村をその管轄下におき植田町役場内に職員大野技手外四名が事務をつとめるが狹隘と繁雜のため右各町村の負擔をもつて工費五百圓で同役場内に建物を建設の運びに至り十日起工したが竣工は來月中旬頃の豫定である

湯本水道補助

湯本町の水道敷設工事に對し今回内務省では工費總額三十萬七千七百四十八圓に對し八萬六千圓の國庫補助を交附した

仲町區長代理 平町仲町區長代理は過般久保田六五郎氏の逝去により缺員中であつたが昨日山田鐵磨氏が推薦された

警女卒業判定

既報 去る九日卒業試験を終了した警女では來る十五日午後一時より卒業判定會を開くが送別會は十六日午後一時より同校講堂に於て催すと

平商入學考査

平商では來る十五日午後一時より同校會議室に於て職員會を開き入學考査に關する件に就いて協議すると

平町人事

結婚 平町橋樑小路二九武藤一 義氏(二五)稚名定子(二六) 回死 北目町一當時東京市豊島區池袋七丁目馬場寛一 八月見町一九當時茨城縣多賀郡日高村根本正尚氏五男 豊

新學年の御用意 ランドセル (十三種) 手提カバン (十三種) マルモト柴田書店 電話 二五三九

『さくら音頭』に ツイ浮されて...

無銭でタラ腹 シャンク

無銭飲食で検挙二件—青森縣北津輕郡鶴田村大字海貫一二〇生れ住所不定無職坂本真三郎(三)は昨夜十二時頃銀治町料理店松本清藏方で鍋焼、ウヰスキー等一圓二十二錢を無銭飲食して平署に檢舉された

空中で 脳震とう

飛行機不時着

昨十一日午前十時十分頃小名濱町上空を飛行中であつた岐阜飛行第三聯隊偵察機三十六號村大澤四郎中尉操縦小杉軍曹同乗して仙臺よりの歸還飛行中大澤中尉が突然脳震蕩を起し操縦不能に陥つたので同乗の小杉軍曹が操縦し同町高山地内海岸に不時着陸したが其際機体を破損し大澤中尉は足部に小杉軍曹は顔面に全治一週間の負傷を負ふた機体に解體輸送すると

濱三郡 木炭品評會

本郡出品百二十點

濱三郡木炭同業組合主催の木炭品評會は四月十五、十六の兩日原ノ町相馬農蠶學校に於て開催されるが本郡からの出品は百二十点内外に上る見込みであると

入學出願

本日迄の分

新學年の生徒募集期間締切が三日後に迫つた警中、警

警炭郷軍

分會から獨立

警城炭礦内の在郷軍人約三百名は従來内郷村分會に所屬してゐたが今回會員の激増と共に分離獨立するこ

送檢數増

去月中の各署

平區裁判所検事局管内各警察署に於ける去月中の検事局への送致件數は合計百件で一月中の九十件に比し十件の増であるが各署別は左の如くである

放火組合長服罪

けふ上訴權を抛棄して

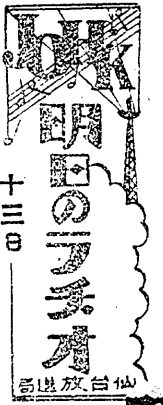
既報平町字月見町二七元町町火防組合長酒小賣商伊藤喜一郎(三)に對する放火事件は去る十日平支部に於て中島判事より懲役二年六ヶ月を言渡されたが本日上訴を抛棄し服罪する事になつた

才判書記試験

全國 裁判所書記登用試験は六月二十一日から廣島控訴院で施行されるが平區からこれに應募受験するもの七名である願書締切は五月十五日

虎眼檢診注意

平町 本年度の壯丁百四十八名のトラホーム檢診は十五日午前九時から平第一校で施行されるが當日平町受檢者以外の平町在住の壯丁で原籍地での檢診に應じ難いもの、檢診も許可すると



明日の予報

今晩も明日も北東の風曇時々晴

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間
童話劇狼と兎出演童喃會
指揮村山喃堂
後六、二五 英語講座 萩原恭平
後七、三〇 母の夕子供を善くする爲めの座談會醫學博士三田谷啓

明日の部

後八、三〇 第四回 追分節競演會 唄清治外數名
後九、〇〇 清元 筒花平向橋吉原雀淨るり清元巴榮太夫
後九、三〇 時報 ニュー氣象通報 番組豫告

前七、〇〇 基礎獨語講座
前九、一〇 料理献立
前九、三〇 家庭講座
「梅見茶の湯懷石料理法」
十枝 山善四郎
後一、〇〇 建武中興
「六百年法要」河内國觀心寺より中繼
後一、〇五 箏曲と地唄一箏曲さらし 三絃菊田歌雄
後一、三〇 建武中興「六百年記念會」實況日本青年館より中繼

後二、〇〇 家庭大學講座
「新日本畫の描き方」望月春江
後六、〇〇 子供の時間
唱歌劇 伊吹媛名古屋樂窓會々員
後七、三〇 講演「御醍醐天皇の御事文」學博士和田英松
後八、〇〇 長唄 楠公杵屋六左衛門外大勢
後八、四〇 舞臺劇新歌舞伎「十八番の内」女楠木尾上多賀之丞外

ヨ夕者映畫に 憧れを感じて

上京途中で映畫見物

安積郡大槻村大字中平武二男古川信夫(一)假名は浪江町新町藥種商鈴木秀藏方に店員として雇はれてゐたが一ヶ月

裁判所たより

植田牛馬組合 植田警察署管内二町八ヶ村の植田牛馬組合總會は十五日午前十時より植田署樓上に於て開會するが決算報告役員改選をし佐藤植田署長の訓辭ある筈

以前より 同店の藥品

十圓を窃盜隠匿しておき昨十一日午後三時頃主人の隙を窺つて逃走今十二日午前五時頃平署待合室で假睡中を平署員に檢舉されたが同人は昨日平署に

平職業紹介所報告

回人を求める方
△女中 十六一二十才 尋卒 月五圓位
△運轉手 二十才前後 高卒 給料面談
△女中 十三一十八才 尋卒 仕着外三圓位
△女中 十八一五十六才迄 尋卒 月五圓
△三助 六十一才 尋卒
△女中 二十九才 高卒

市原醫院

平町 田町 電話一四番

美味! 芳醇! 宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番



【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演
山本英春 畫

第七十八回 徳川家に崇る村正

由松が抱く大望
由松考へた、四文では客が多過ぎて却々間に合はない、今度は八文にしてやろう

前の代になつたら立派にやつて行けるやうになるだらう、併し阿母さんが無事でも、こんなにお前に苦勞は掛けられないものを」と涙に暮れました、そこで由松が



甲「オ、早く俺の方へ貸してくれ先刻から待つてゐるんぢやないか」
由「左様でございますか、相済みません、八文頂戴いたします」
甲「オ、間違ひぢやねえか一人だよ」
由「只今から八文になりました」
甲「オヤ、酷い小僧だな一足違ひで四文値上げしちまいやがつた」

由「お父さん私は小さかつたので事情は分らなかつたが、阿母さんは如何して居なくなつてしまつたのですか、教へて下さい」
惣「由松や、今迄はお前にかくしてゐたが實はお前の阿母さんは青山七丁目目劍術

由「お父さん大分貴方のご病氣も宜くなつたから、この分では遠からず稼業が出来る様になりませう、そうしたらどうか私に四五年暇を下さい」
惣「何處へ行くのだ、伊勢詣りでも仕掛といふのか」

の道場を開いてゐる水上五太夫といふ者のために殺された、その時の事情はこれと具に物語りました、始めて聞いた母親の災難、由松は涙に暮れて
由「それぢや阿母さんの仇は青山七丁目の水上五太夫といふ劍術使ひだね」
惣「そなたが相手が劍術使ひでなかつたら何とか仕返しも出来るだらうが、情ないことに此方は取るに足らない町人、それに證據がないからどうすることも出来ない」
暫く考へてゐた由松が

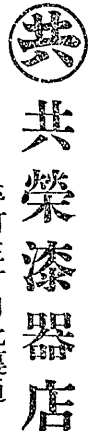
由「イエ、そうではございませぬ、なんぼ町人も阿母さんを殺されて、その儘にして置くのは人間の道でない、これから私は一生懸命信心をして、水上五太夫といふ奴を殺し、阿母さんの仇討ちをしやうと思ひます、どうぞお父さん意見をしないで下さい」
惣「コレ、なんぼ子供でもそんな馬鹿氣た考を起すものぢやない、相手は武士殊に劍術の先生、お前の様な子供に何で仇討ができるものか」
由「イエ、さうではございませぬ、人間が一生懸命になつてやれば、どんな事でも出来るといふことを聞きました、とても尋常に果し合ひをしたとてかなひますまいが、人には油断のあるものですからいつかその油断を見て、殺してしまひます」

惣「なるほどお前がそれほどまでに決心をしたのなら私は決して止めないから、お前の思ひ通りやつて見なさい」
由「さうでございますか、それではお父さんの傍に居ない不幸は許して下さいませうか」
惣「不幸と言つてもつまり孝のため、結構だ、やんなさい」
父の許しを受けて由松も大いに喜び、それから暫く父のもとにあつて相變らず稼いで居ると好い鹽梅に惣兵衛の身体も元に復したので

學校卒業賞品特賣

各學年卒業修業期が近づきました。各種賞品類も全部荷揃致しました御仕入の絶好期、卸賣特に御務め勉強致します

- 景品賞品類
- 進物贈答品
- 恩賜賞品
- 記念表彰品
- 各國産漆器



店員募集

本年尋卒 仕着 小使月三圓
同高小卒 仕着 小使月三圓
外交員十八九才より三十才迄

お正月催した鮎とカキ料理デーは多大の御引立に預り誠に厚く御禮申上ます。就きましては又々本日よりまぐろとカキ料理デーを初めましたから何卒以上の御引立の程御願致します。

さしみ山盛	御一人前	二十五錢
鐵火卷	同	十五錢
井	同	二十錢
ねぎまなべ	同	二十錢
鮎すし	同	二十錢
かきなべ	同	二十五錢
百	同	二十五錢
かき	同	十五錢
フライ	同	二十錢

魚清食堂部

平二丁目 電話六三三番

耳鼻咽喉科専門

大和田醫院

平町南町 電一七〇番

お醤油は ヤマフル

醤油味噌
たひら 正宗
鯉節 食料品

山崎合名會社

福島縣平町【電話營業部二〇醸造工場】
明治生命塔城代理店 山崎 與三郎